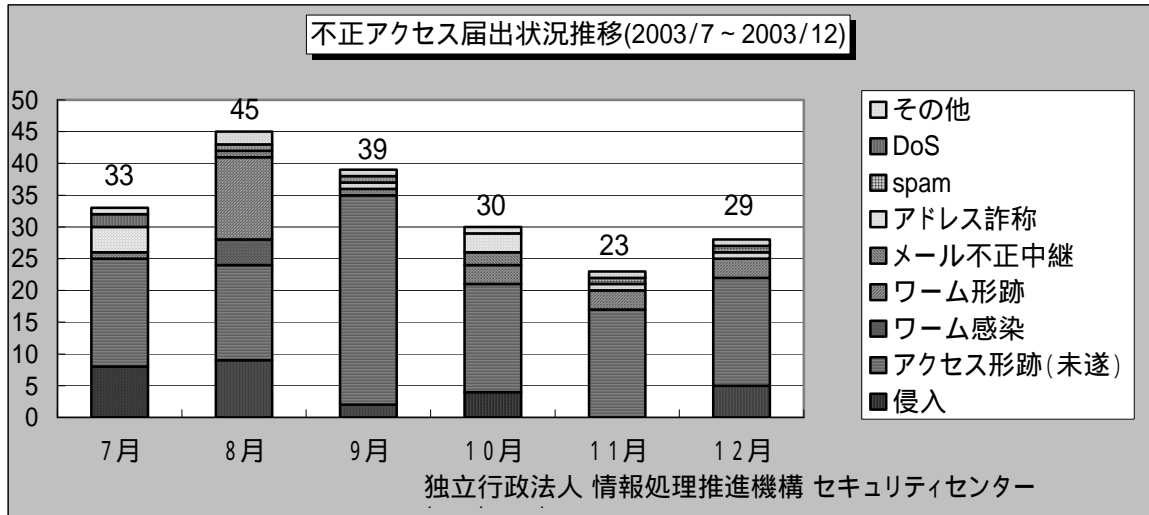


コンピュータ不正アクセスの届出状況について [詳細]

1. 不正アクセス届出の詳細



1) 届出種別の内訳は次のとおりです。

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
侵入	8	9	2	4	0	5
アクセス形跡(未遂)	17	15	33	17	17	17
ワーム感染	0	4	0	0	0	0
ワーム形跡	0	13	1	3	3	1
メール不正中継	1	1	0	2	0	1
アドレス詐称	4	0	1	3	1	2
spam	0	0	0	0	1	1
DoS	2	1	1	0	0	0
その他	1	2	1	1	1	2
合計(件)	33	45	39	30	23	29

2) 届出の届出者別件数は次のとおりです。個人ユーザからの届出が、約7割を占めています。

届出者	届出件数					
	2003/12		2003年合計		2002年合計	
一般法人ユーザ	7	24.1%	81	19.9%	151	24.4%
教育・研究機関	2	6.9%	40	9.8%	54	8.7%
個人ユーザ	20	69.0%	286	70.3%	414	66.9%

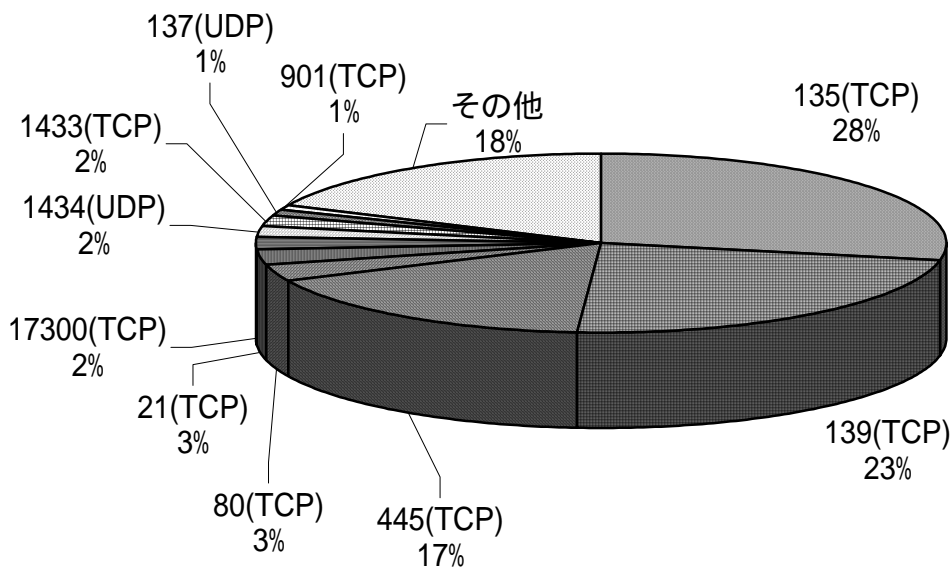
3)届出の被害原因別件数は次のとおりです。設定不備が原因となった被害届出が約 3 分の 1 を占めています。

原因	届出件数					
	2003/12		2003年合計		2002年合計	
ID、パスワード管理不備	2	18.2%	6	4.8%	3	1.3%
古いバージョン・パッチ未導入	1	9.1%	22	17.5%	50	22.2%
設定不備	4	36.4%	28	22.2%	33	14.7%
不明・その他	1	9.1%	37	29.3%	70	31.1%
原因なし	3	27.2%	33	26.2%	69	30.7%

2. 12月のネットワーク観測状況

IPA が試験的に運用しているサーバーの各ポートへのアクセス状況を観測したデータです。

12月の疑わしいポートスキャン



3. 12月に掲載した脆弱性情報

12月にIPAにて掲載した脆弱性に関連する他組織からのお知らせです。

CERT/CC

- ・ Linux カーネルに、root 権限を奪われる脆弱性

Apple

- ・ Apple の Mac OS X に複数の脆弱性

Cisco

- ・ Cisco Aironet に WEP 鍵が漏洩する脆弱性
- ・ Cisco PIX に複数の脆弱性
- ・ Cisco の Firewall Service Module に複数の脆弱性

Macromedia

- ・ ColdFusion MX と Jrun4 の Web サービスに脆弱性
- ・ Macromedia の Flash Player に、ローカルファイルへのアクセスを許す脆弱性

Opera

- ・ Opera にスキンファイル処理の脆弱性

詳細は以下の URL を参照してください。

「脆弱性関連情報 2003 年 12 月分」

<http://www.ipa.go.jp/security/news/news0312.html>

・ コンピュータ不正アクセス被害の届出制度について

コンピュータ不正アクセス被害の届出制度は、経済産業省のコンピュータ不正アクセス対策基準に基づき、'96年8月にスタートした制度であり、同基準において、コンピュータ不正アクセスの被害を受けた者は、被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされている。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っているが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータ不正アクセス対策を検討している。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表している。

コンピュータ不正アクセス対策基準

- ・ 通商産業省告示第362号 平成8年8月8日制定
- ・ 通商産業省告示第534号 平成9年9月24日改訂
- ・ 通商産業省告示第950号 平成12年12月28日改訂
- ・ 経済産業省告示第3号 平成16年1月5日改訂

お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

Tel:03-5978-7508 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp